TML

新発売

大容量沈下計　KLD-1000A

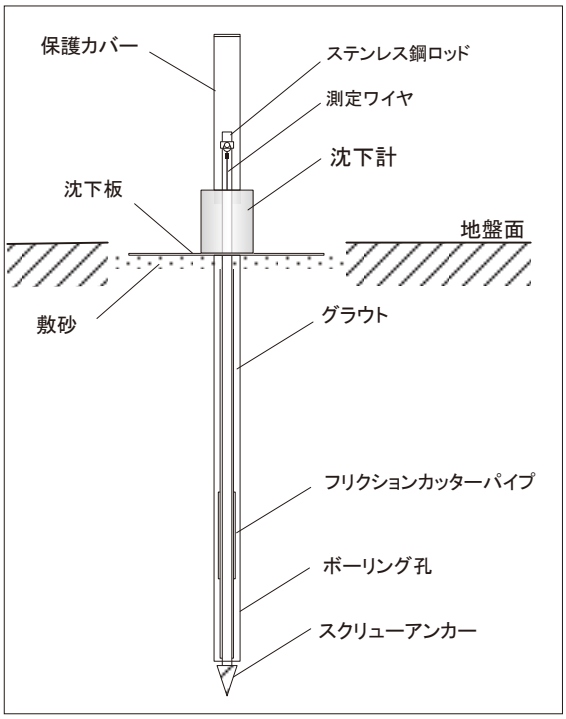
軟弱地盤における大きな沈下を動態観測

大容量沈下計は地盤面に設置し、沈下に伴う移動量を最大1000mm測定する沈下計です。ロッドは先端にスクリューアンカーを固定し、支持層までボーリングした孔底部に固着します。軟弱地盤沈下の動態観測や盛土における圧密沈下の施工管理も可能です。

特長

●沈下量最大1000mm測定
●データロガーで測定、取り扱いが簡単

■設置例



■関連製品

沈下板
ステンレス鋼ロッド
フリクションカッターパイプ
スクリューアンカー

※関連製品は現場施工に合わせた製作となります。

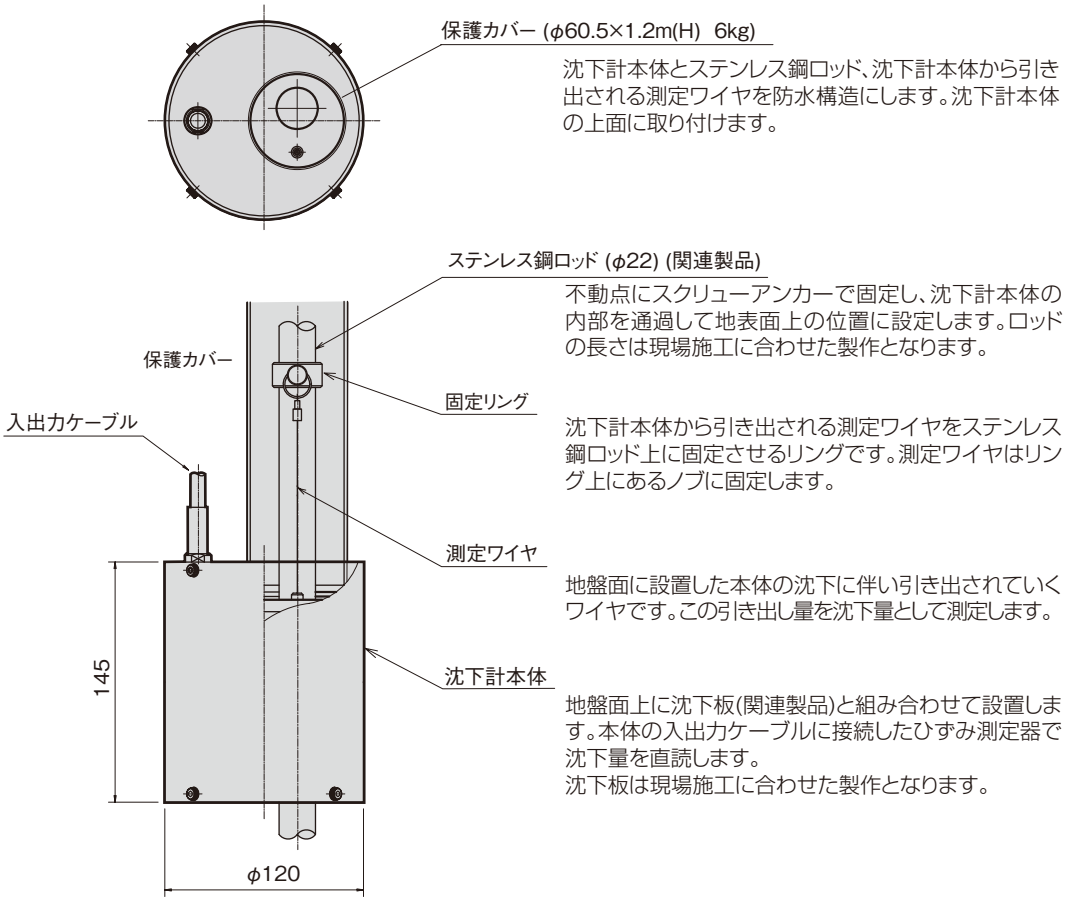
■仕様

容量	1000mm
定格出力	5mV/V(10000×10^{-6} ひずみ)±1.0%
感度	10×10^{-6} ひずみ/mm
非直線性	1%RO
許容温度範囲	−10～ +80℃(結露しないこと)
入力抵抗	約260Ω
出力抵抗	約350Ω
推奨印加電圧	2V以下
許容印加電圧	10V
入出力ケーブル	φ9mm　0.5mm^2 4心シールドケーブル 2m
質量	約7kg (保護カバー含まず)
保護等級	IP68相当

[標準付属品]

試験成績書	1部
取扱説明書	1部
保護カバー	1個
固定リング	1個

■ 構成と外観寸法図



沈下計本体とステンレス鋼ロッド、沈下計本体から引き出される測定ワイヤを防水構造にします。沈下計本体の上面に取り付けます。

不動点にスクリューアンカーで固定し、沈下計本体の内部を通過して地表面上の位置に設定します。ロッドの長さは現場施工に合わせた製作となります。

沈下計本体から引き出される測定ワイヤをステンレス鋼ロッド上に固定させるリングです。測定ワイヤはリング上にあるノブに固定します。

地盤面に設置した本体の沈下に伴い引き出されていくワイヤです。この引き出し量を沈下量として測定します。

地盤面上に沈下板(関連製品)と組み合わせて設置します。本体の入出力ケーブルに接続したひずみ測定器で沈下量を直読します。
沈下板は現場施工に合わせた製作となります。

単位: mm

掲載内容は予告無く変更することがあります。掲載内容は平成24年10月現在のものです。

株式會社 東京測器研究所
www.tml.jp

本　　社	〒140-8560	東京都品川区南大井6-8-2	TEL:(03)3763-5611	FAX:(03)3763-6128
東京営業所	〒140-8560	東京都品川区南大井6-8-2	TEL:(03)3763-5611	FAX:(03)3763-6128
札幌営業所	〒063-0826	札幌市西区発寒6条10丁目5-1	TEL:(011)665-2600	FAX:(011)665-2601
北関東営業所	〒329-0502	栃木県下野市下古山3332-3	TEL:(0285)51-2251	FAX:(0285)51-2252
つくば出張所	〒305-0817	茨城県つくば市研究学園D34街区2	TEL:(029)868-6705	FAX:(029)858-5855
高崎営業所	〒370-0045	群馬県高崎市東町187-2布施ビル1F	TEL:(027)345-6631	FAX:(027)325-7577
海老名営業所	〒243-0432	海老名市中央2-1-16センチュリープラザ2F	TEL:(046)236-6181	FAX:(046)233-0661
名古屋営業所	〒465-0025	名古屋市名東区上社2-210	TEL:(052)776-1781	FAX:(052)776-3016
大阪営業所	〒542-0062	大阪市中央区上本町西5-3-19	TEL:(06)6762-9831	FAX:(06)6762-9837
明石営業所	〒673-0016	明石市松の内2-4-10ユタカ第1ビル6F	TEL:(078)929-1462	FAX:(078)922-0046
福岡営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-24-9	TEL:(092)431-7205	FAX:(092)473-7893
計測技術部	〒140-8560	東京都品川区南大井6-8-2	TEL:(03)3763-5617	FAX:(03)3763-5734

001

認証取得範囲　ISO9001
ひずみゲージ、ひずみ測定装置、変換器の設計と製造